マルチメディア

製品番号：404160-291

2006年3月

このガイドでは、コンピュータのマルチメディア ハードウェア機能およびソフトウェア機能の使用方法について説明します。マルチメディア機能はお使いのモデルおよびソフトウェアにより異なります。

目次

1 マルチメディア ハードウェア

2 マルチメディア ソフトウェア

1

マルチメディア ハードウェア

お使いのコンピュータには､次のマルチメディア ハードウェア コンポーネントが含まれています。

■ オプティカル ドライブ

■ 内蔵マイクおよびオーディオ入力（マイク）コネクタ

■ オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ

■ 外付けモニタ ポート

■ Sビデオ出力コネクタ

お使いのコンピュータに付属のコンポーネントは、地域やモデルによって異なります。この章の図は、ほとんどのモデルのコンピュータに搭載されている外部コンポーネントの標準的な機能を示しています。

オプティカル ドライブの使用

オプティカル ドライブを使用してCDやDVDの再生、コピー、または作成が可能です。ただし、取り付けられているドライブの種類やインストールされているソフトウェアにより、できる作業は異なります。

お使いのコンピュータの外観は、図と多少異なる場合があります。

取り付けられているオプティカル ドライブの確認

コンピュータに取り付けられているオプティカル ドライブの種類を表示するには、以下の操作を行います。

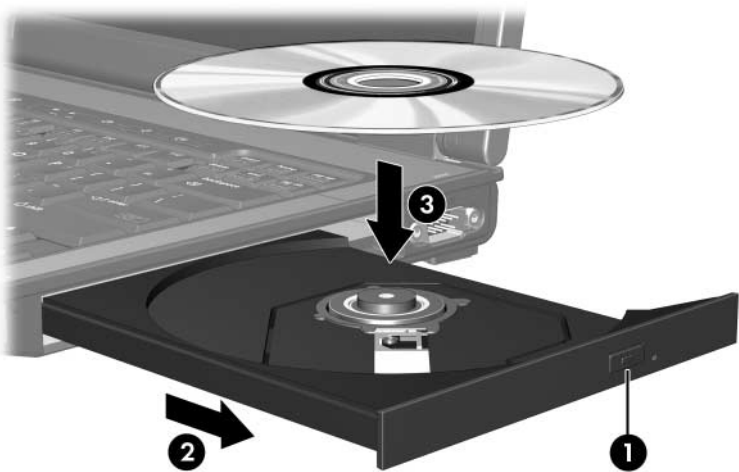
» [スタート]→[マイ コンピュータ]の順に選択します。

[リムーバブル記憶域があるデバイス]の項目の下に、コンピュータに取り付けられているオプティカル ドライブの種類が表示されます。

オプティカル ディスクの挿入

1. コンピュータの電源を入れます。
2. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン❶を押して、メディア トレイが少し押し出された状態にします。
3. トレイをゆっくりと引き出します❷。
4. CD または DVD の表面に触れないように端を持ち、ラベルを上にしてトレイの回転軸に置きます。

   ✎ トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて回転軸に置きます。

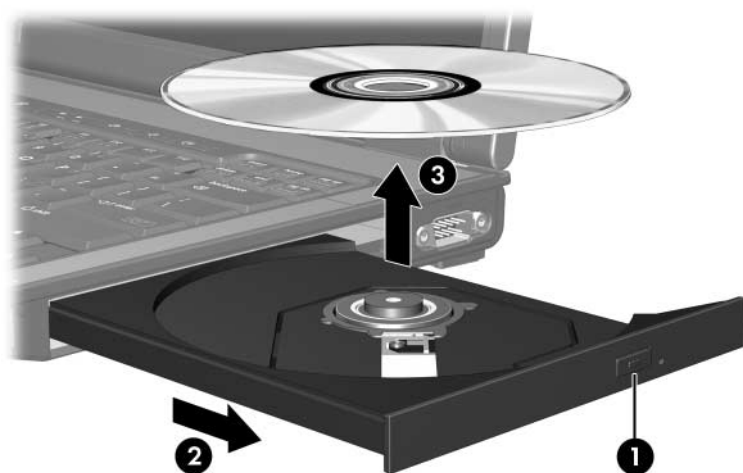
5. ディスクをそっと下に押して❸、トレイの回転軸にはめ込みます。

6. メディア トレイを閉じます。

ディスクの挿入後、プレーヤの起動まで少し時間がかかりますが、これは通常の動作です。デフォルトのメディア プレーヤを選択していない場合は、**[自動再生]**ダイアログ ボックスが開き、メディアの内容の使用方法についての選択を求められます。

オプティカル ディスクの取り出し（電源使用時）

コンピュータが外部電源またはバッテリ電源で動作している場合は、以下の手順で操作します。

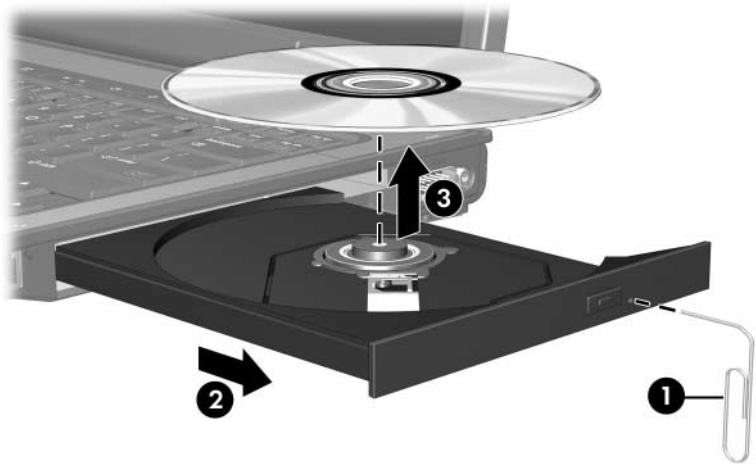
1. コンピュータの電源を入れます。
2. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン❶を押して、メディア トレイが少し押し出された状態になったら、トレイをゆっくりと引き出します❷。
3. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します❸。ディスクを扱うときは、表面に触れないように端を持ってください。

✎ メディア トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて取り出します。

4. メディア トレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

オプティカル ディスクの取り出し（電源切断時）

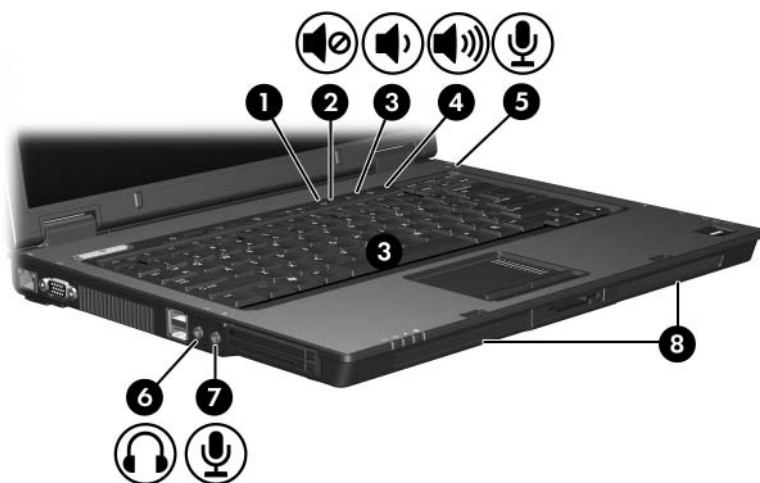
外部電源またはバッテリ電源を利用できないときは、以下の手順で操作します。

1. ドライブのフロント パネルにあるリリース アクセスにクリップの端を差し込みます❶。
2. クリップをそっと押して、トレイが少し押し出された状態になったら、トレイをゆっくりと引き出します❷。
3. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します❸。ディスクを扱うときは、表面に触れないように端を持ってください。

✎ メディア トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて取り出します。

4. メディア トレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

オーディオ機能の使用

次の図と表では、コンピュータのオーディオ機能について説明します。

お使いのコンピュータに最も近い図を参照してください。

名称		機能
❶	ミュート ランプ	コンピュータの音量が消音されているときに点灯します
❷	ミュート ボタン	コンピュータの音量を消音（ミュート）します
❸	音量下げボタン	コンピュータの音量を下げます
❹	音量上げボタン	コンピュータの音量を上げます
❺	内蔵マイク	サウンドを録音します
❻	オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ	別売の電源付きステレオ スピーカ、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、テレビ オーディオなどを接続します
❼	オーディオ入力（マイク）コネクタ	別売のヘッドセット マイクまたは単独のマイクを接続します
❽	スピーカ（×2）	コンピュータのサウンドを出力します

名称		機能
❶	オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ	別売の電源付きステレオ スピーカ、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、テレビオーディオなどを接続します
❷	オーディオ入力（マイク）コネクタ	別売のヘッドセット マイクまたは単独のマイクを接続します
❸	スピーカ（×2）	コンピュータのサウンドを出力します

内蔵マイク（一部のモデルのみ）または
オーディオ入力（マイク）コネクタの使用

お使いのコンピュータには、内蔵モノラル マイクと、ステレオ アレイまたはモノラルのマイクをサポートするステレオ（デュアル チャネル）のマイク コネクタが装備されています。ステレオ マイクを接続して録音ソフトウェアを使用すると、ステレオ録音およびステレオ再生が可能になります。

マイクをマイク コネクタに接続する場合は、3.5 mmプラグのマイクを使用してください。

コンピュータに外付けマイクを接続すると、コンピュータの内蔵マイクは無効になります。

オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタの使用

警告：突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。

外付けデバイスの損傷を防ぐため、モノラル コネクタをヘッド フォン コネクタに接続しないでください。

ヘッドフォン コネクタは、ヘッドフォンを接続する他に、テレビやビデオデッキなどのオーディオ/ビデオ機器のオーディオ入力機能を接続するためにも使用します。

ヘッドフォン コネクタにデバイスを接続する場合、3.5 mmのステレオ プラグのみを使用してください。

ヘッドフォン コネクタにデバイスを接続すると、内蔵スピーカは無効になります。

音量の調整

次のどれかを使用して、音量を調節できます。

- コンピュータ本体の音量ボタン
  - ❏ 消音したり音量を元に戻したりするには、ミュート ボタンを押します。
  - ❏ 音量を下げるには、音量下げボタンを押します。
  - ❏ 音量を上げるには、音量上げボタンを押します。
- Microsoft® Windows®の[ボリューム コントロール]
  1. タスク バーの右端にある通知領域の[音量]アイコンをクリックします。
  2. スライダを上下に動かして、音量を上げたり下げたりします。[ミュート]チェック ボックスにチェックを入れて、音量を消音します。

  または

  1. 通知領域の[音量]アイコンをダブル クリックします。
  2. [ボリューム コントロール]列で音量スライダを上下に動かして、音量を上げたり下げたりします。音量のバランスの調節や消音もできます。

  [音量]アイコンが通知領域に表示されていない場合は、以下の手順でアイコンを通知領域に追加します。

  1. [スタート]→[コントロール パネル]→[サウンド、音声、およびオーディオ デバイス]→[サウンドとオーディオ デバイス]の順に選択します。
  2. [音量]タブをクリックします。
  3. [タスクバーに音量アイコンを配置する]チェック　ボックスにチェックを入れます。
  4. [適用]をクリックします。
- アプリケーションの音量調整機能

  音量を調整できるアプリケーションもあります。

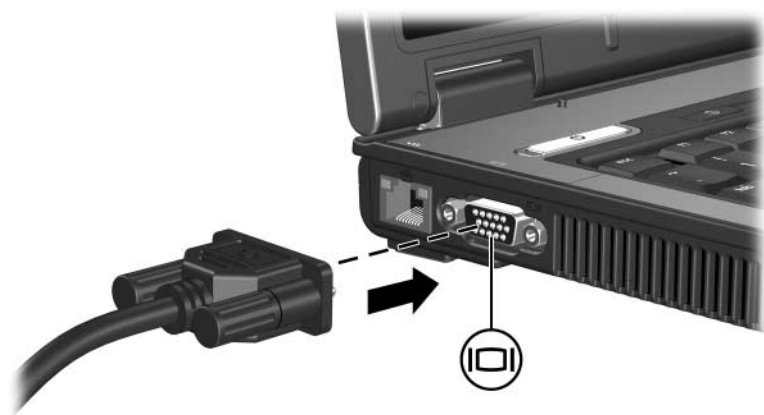
ビデオ機能の使用

お使いのコンピュータには次のビデオ機能が搭載されています。

- テレビ、モニタ、またはプロジェクタに接続する外付けモニタ ポート
- さまざまな種類の高機能のビデオ コンポーネントに接続するSビデオ出力コネクタ（一部のモデルのみ）

外付けモニタ ポートの使用

外付けモニタ ポートにより、外付けモニタまたはプロジェクタなどの外付けディスプレイ デバイスをお使いのコンピュータに接続できます。

ディスプレイ デバイスを接続するには、デバイスのケーブルを外付けモニタ ポートに接続します。

正しく接続された外付けディスプレイ デバイスに画像が表示されない場合は、[fn]＋[f4]キーを押して画像をデバイスに転送します。

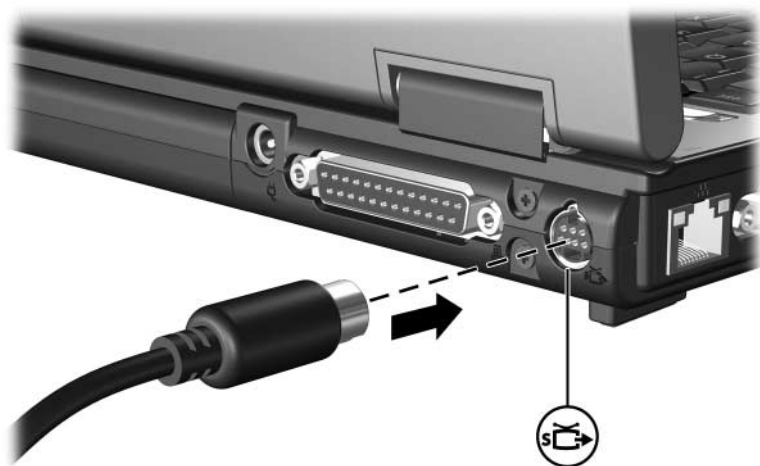
Sビデオ出力コネクタの使用（一部のモデルのみ）

7ピンのSビデオ出力コネクタにより、テレビ、ビデオデッキ、ビデオカメラ、オーバーヘッド プロジェクタ（OHP）、ビデオ キャプチャ カードなどの別売のSビデオ機器を接続できます。

コンピュータのSビデオ出力コネクタには、1台のSビデオ機器を接続できます。その際、コンピュータのディスプレイまたはその他のサポートされている外付けディスプレイにも、同時に画像を表示できます。

ビデオ信号をSビデオ出力コネクタ経由で送信するには、一般の電化製品販売店で入手可能なSビデオ ケーブルが必要です。お使いのコンピュータで再生したDVDの動画をテレビで表示するなど、オーディオ機能とビデオ機能を組み合わせる場合は、ヘッドフォン コネクタに接続するために、一般の電化製品販売店で入手可能な標準のオーディオ ケーブルも必要です。

ビデオ機器をSビデオ出力コネクタに接続するには、以下の手順で操作します。

1. Sビデオ ケーブルの一端をコンピュータのSビデオ出力コネクタに接続します。

2. ビデオ機器に付属の説明書の指示に従って、ケーブルのもう一方の端をビデオ機器に接続します。
3. [fn]＋[f4]キーを押して、コンピュータに接続されているディスプレイ デバイスの間で表示画面を切り替えます。

コンピュータに別売のドッキング デバイスを装着しているためにコンピュータのSビデオ出力コネクタを使用できない場合は（一部のモデルのみ）、ドッキング デバイスのSビデオ出力コネクタにSビデオ ケーブルを接続します。

2

マルチメディア ソフトウェア

お使いのコンピュータにはマルチメディア ソフトウェアがプリインストールされています。一部のモデルでは、付属のオプティカル ディスクに追加のマルチメディア ソフトウェアが収録されています。

コンピュータに搭載されているハードウェアおよびソフトウェアによっては、次のマルチメディアに関する操作がサポートされている場合があります。

- オーディオ/ビデオCD、オーディオ/ビデオDVD、およびインターネット ラジオを含むデジタル メディアの再生
- データCDの作成またはコピー
- オーディオCDの作成、編集、および書き込み
- ビデオまたは動画のDVDやビデオCDでの作成、編集、および書き込み

コンピュータにインストールされているソフトウェアの使用について詳しくは、ソフトウェアのユーザ マニュアルを参照してください。これらのマニュアルはCDまたは該当するアプリケーション内のヘルプ ファイルとして提供されます。ソフトウェアの製造元のWebサイトからユーザ マニュアルを入手できる場合もあります。

プリインストールされているマルチメディア ソフトウェアの確認

コンピュータにプリインストールされているマルチメディア ソフトウェアを確認および使用するには、以下の操作を行います。

» [スタート]→[すべてのプログラム]の順に選択します。

[スタート]→[すべてのプログラム]→[Software Setup]の順に選択して、コンピュータにマルチメディア ソフトウェアを再インストールすることもできます。

CDからのマルチメディア ソフトウェアのインストール（一部のモデルのみ）

コンピュータに同梱されているCDからマルチメディア ソフトウェアをインストールするには、以下の手順で操作します。

1. マルチメディア ソフトウェアのCDをオプティカル ドライブに挿入します。
2. インストール ウィザードが開いたら、画面上のインストール手順に沿って操作します。
3. 画面に指示が表示されたら、コンピュータを再起動します。

インストールするCDの各マルチメディア ソフトウェアに対してこのインストール手順を繰り返します。

マルチメディア ソフトウェアの使用

コンピュータにインストールされているマルチメディア ソフトウェアを使用するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]の順に選択し、使用するマルチメディア プログラムを開きます。たとえば、Windows Media PlayerでオーディオCDを再生する場合、[Windows Media Player]を選択します。

   ✎ サブフォルダに含まれているプログラムもあります。

2. オーディオCDなどのメディア ディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
3. 画面の説明に沿って操作します。

または

1. オーディオCDなどのメディア ディスクをオプティカル ドライブに挿入します。

   [自動再生]ダイアログ ボックスが開きます。

2. インストールされているマルチメディア　プログラムごとのタスクの一覧から、実行するマルチメディア タスクをクリックします。

   ✎ [自動再生]ダイアログ ボックスでは、メディア ディスクのデフォルトのマルチメディア プログラムを選択できます。一覧からプログラムを選択してから、[常に選択した動作を行う]チェックボックスにチェックを入れます。

3. [OK]をクリックします。

再生中のメディアの保護

再生機能が失われたり再生品質が劣化したりすることを防ぐには、以下のことを行ってください。

- CDまたはDVDを再生する前に作業内容を保存し、開いているすべてのアプリケーションを終了します。
- ディスクの再生中は、ハードウェアの着脱は行わないでください。

Windowsの起動中に再生が停止することを防ぐには、ディスクの再生中にスタンバイまたはハイバネーションを起動しないようにします。ディスクの使用中にスタンバイまたはハイバネーションを起動すると、**[コンピュータが休止またはスタンバイ状態になると、再生は停止します。再生を再開するには、[再生]をクリックします。コンテンツは最初から再生されます。続行しますか?]**という警告が表示される場合があります。その場合は、**[いいえ]**をクリックします。**[いいえ]**をクリックすると、以下の処理が実行されます。

- 再生が再開されます。

または

- 再生が停止し、画面がクリアされます。CDまたはDVDの再生に戻るには、電源ボタンを押してディスクを再び起動します。

CDまたはDVDの書き込み処理の保護

注意：情報の損失またはディスクの損傷を防ぐため、次の注意事項を必ず守ってください。

- ディスクに書き込む前に、コンピュータを安定した外部電源に接続します。コンピュータがバッテリ電源で動作しているときは、ディスクに書き込まないでください。
- ディスクに書き込む前に、使用するディスク ソフトウェア以外の開いているすべてのプログラムを閉じます。
- コピー元のディスクからコピー先のディスクへ、またはネットワーク ドライブからコピー先のディスクへ直接コピーしないでください。コピー元のディスクまたはネットワーク ドライブからハードドライブへコピーしてから、ハードドライブからコピー先のディスクへコピーします。
- ディスクへの書き込みが行われている間は、コンピュータのキーボードを使用したり、コンピュータを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすいためです。

DVDの地域設定の変更

著作権で保護されたファイルが含まれているほとんどのDVDには、地域コードも含まれています。地域コードは、世界的なレベルで著作権を保護します。

DVDの地域コードが、お使いのDVDドライブの地域設定と一致する場合にのみ、その地域コードが含まれているDVDを再生できます。

DVDの地域コードがお使いのドライブの地域設定と一致しない場合は、そのDVDをドライブに挿入すると[**このコンテンツの再生は、この地域（リージョン コード）では許可されていません。**]というメッセージが表示されます。このDVDを再生するには、お使いのDVDドライブの地域設定を変更する必要があります。DVDの地域設定は、オペレーティング システムまたは一部のDVDプレーヤで変更できます。

注意：DVDドライブの地域設定は、5回までしか変更できません。

- 5回目に選択した地域設定が、DVDドライブの永続的な地域設定になります。
- ドライブで地域設定を変更できる残りの回数が、[**DVD地域**]タブの[**残り変更回数**]ボックスに表示されます。このボックスの数には、5回目の永続的な変更が含まれます。

オペレーティング システムでDVDの設定を変更するには、以下の手順で操作します。

1. [**スタート**]→[**マイ コンピュータ**]の順に選択します。
2. ウィンドウを右クリックして[**プロパティ**]→[**ハードウェア**]タブ→[**デバイス マネージャ**]の順に選択します。
3. [**DVD/CD-ROMドライブ**]をクリックし、地域設定を変更するDVDドライブを右クリックします。次に[**プロパティ**]をクリックします。
4. [**DVD地域**]タブで変更を行います。
5. [**OK**]をクリックします。

著作権に関する警告について

コンピュータ プログラム、フィルム、放送内容、録音内容などの著作権により保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法違反です。このコンピュータをそのような目的に使用しないでください。

以下の記号は、本文中で安全上重要な注意事項を示します。

警告：その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。

注意：その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

マルチメディア
初版 2006年3月
製品番号：404160-291

日本ヒューレット・パッカード株式会社